

浜田市議会政務活動費の交付に関する細則

平成 18 年 2 月 16 日 平成 19 年 3 月 20 日

平成 22 年 3 月 18 日 平成 25 年 3 月 12 日

平成 25 年 7 月 26 日 平成 28 年 11 月 25 日

平成 31 年 3 月 12 日

浜田市議会運営委員会決定

浜田市議会政務活動費の交付に関する条例（平成 17 年浜田市条例第 6 号）第 5 条別表政務活動費使途基準の取り扱いについて下記のとおり定める。

- 1 政務活動費をあてることができる経費の範囲は、別表のとおりとする。
- 2 議長は、本細則を改廃しようとするときは、議会運営委員会に諮って了承を得た後、全員協議会で出席議員全員の同意を得て実施する。
- 3 政務活動費の使途基準に定める各項目ごとの金額は、議員個人的意思によって決められるものであるが、議員の調査研究その他の活動を明確にする上でも、収支報告書の各項目における支出額は最低 3,000 円程度となるよう努力するものとする。
収支報告書に添えて提出する領収書等証拠書類については、原則原本とし、原本の提出が困難な場合は写しをもってこれに代えることができる。
- 4 議員は、政務活動費を支出したときは必ず領収書（書籍購入などのときは備考欄に題名等の記入をするなど支出内容を明確にする。）を得ることとし、領収書が得られないときは、支出内容を証明する書類（レシートや相手方が発行する支出証明書等）を得ること。
なお、どうしても領収書や支出を証明する書類が得られないとき（調査研究費を支出したときなど）は、証明できるものをもってこれに代えることができる。
- 5 議員が調査研究費を使用して市外への調査研究を行うとき、研修会などに参加するときは、議長に調査研究活動申請書を提出し承認を得るものとする。また、調査研究活動終了後は 14 日以内に議長に調査研究活動報告書を提出するものとする。
- 6 議員が政務活動費の交付を受けて調査研究等の活動中に事故等により被害を受けた場合にあっても、公務災害補償の対象にはならない。
- 7 平成 19 年度分の政務調査費収支報告書提出時から、具体的な支出内容を示す添付資料を提出することとする。
- 8 議員が要請・陳情活動費を使用して要請・陳情活動を行うときは、議長に要請・陳情活動申請書を提出し承認を得るものとする。また、要請・陳情活動終了後は 5 日以内に議長に要請・陳情活動報告書を提出するものとする。

附則

この細則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

平成 19 年 3 月 20 日 一部(7 項を追加及び別表使途基準細目変更)を改正。

平成 22 年 3 月 18 日 一部(5 項中報告書様式を変更、追加及び別表使途基準
細目変更)を改正

平成 25 年 3 月 12 日 一部(本則中政務調査費を政務活動費に変更及び 8 項を
追加し申請書、報告書様式を新たに規定及び別
表を改正)を改正

平成 25 年 7 月 26 日 一部(別表政務活動費をあてることのできる経費)を改正

平成 28 年 11 月 25 日 一部(5 項中調査研究活動報告書の提出期限を変更)を
改正

平成 31 年 3 月 12 日 一部(3 項を領収書等証拠書類について変更及び別表資
料作成費を変更)を改正

別表 政務活動費をあてることができる経費

費目	支出することができるもの	支出することができないもの
調査研究費	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費（運賃、宿泊料） ○車借上料（バス、タクシー等） ○車利用の場合は有料道路代、ガソリン代実費 ○調査委託（コンサルタント委託）に要する経費 ○インターネット使用料 （経費の1/3以内、年間上限額を1万円以内） ○タブレット端末使用料 （経費の1/3以内、年間上限額を1万円以内） 	<ul style="list-style-type: none"> ●議長が承認しない視察旅費 ●先進地の位置付けに明確さを欠く視察 ●海外視察に係る経費 ※議長に承認を得た、友好都市及びそれに準ずる都市についての視察は認める ●議員の飲食費（食料費） ●視察先への土産代
研修費	<ul style="list-style-type: none"> ○会場使用料 ○講師謝礼 ○講師との食事代（講師分のみ） ○旅費（運賃、宿泊料） ○研修会等参加者負担金、会費 ○車借上料（バス、タクシー等） ○車利用の場合は有料道路代、ガソリン代実費 	<ul style="list-style-type: none"> ●議員の飲食費 ●茶菓子 ●講師への土産代 ●政治団体等への大会、研修会等の参加費、交通費、宿泊料等 ※食料費は原則的に認められないが、研究研修費における「出席者負担金」や「会費」の中に食料費が含まれている場合は認める。
広聴費	<ul style="list-style-type: none"> ○会場使用料 ○資料印刷費 ○会議に伴う湯茶、茶菓子代 	<ul style="list-style-type: none"> ●飲食費
要請・陳情活動費	<ul style="list-style-type: none"> ○印刷費 ○写真代 ○文書コピー代 ○事務用品、消耗品 ○旅費（運賃、宿泊料） ○車借上料（バス、タクシー等） ○車利用の場合は有料道路代、ガソリン代実費 ○郵送料 	<ul style="list-style-type: none"> ●議長が承認しない要請・陳情活動の経費
資料作成費	<ul style="list-style-type: none"> ○印刷費 ○写真代 ○文書コピー代 ○研究・研修・視察等の報告書作成に係る印刷代、写真代 ○事務用品、消耗品 （明確に政務活動費に係るもの以外は按分：該当経費の1/3以内、年間上限額を1万円以内） ○リース料 	<ul style="list-style-type: none"> ●議員個人、政党の宣伝活動に係る経費 ●選挙活動の資料作成費 ●議会活動報告書等の印刷、郵送料等の経費 ●備品（1件の取得価格が税込み額の1/3が10,000円を超えるもの以上のもの）ただし、10,000円未満の物品で議員をやめたときは事務局に返納する。

資料購入費	<p>○書籍購入費 (明確に政務活動費に係るもの以外は 按分：該当経費の1/3以内)</p> <p>○新聞購読料(専門誌のみ)</p>	<p>●新聞購読料で一般紙は認めない。</p> <p>●所属政党、宗教等の図書、雑誌、新聞等</p>
その他 (上記費目すべてに該当)		<p>●電話代(自宅、携帯)</p> <p>●名刺代</p> <p>●議員個人の自動車管理費</p> <p>●政治活動に係る経費</p> <p>●慶弔関係経費、見舞金、餞別、寸志、電報、祝詞等</p> <p>●政党への寄付金</p> <p>●私的支出に係る経費</p>